

社 会

I 1 光ファイバー 2 総務 3 大韓民国（韓国） 4 パラリンピック

問1 あ 問2 土石流

問3 a < b Q 老人ホーム R 交番 c 断層

d 高度経済成長期に数多くの住宅が建てられたため、たたみ表として使われるいぐさの需要が増えたから。

問4 標高（等高線）

問5 A け B < C い D き E か F う

II A い B え C え D い E あ
F え G い H い I え

1 清少納言 2 冷戦 3 植民地 4 北里柴三郎

① 年中行事 ② え ③ え

④ 蘭学を学んだ福沢諭吉はオランダ語を読むことができたが、横浜ではおもな貿易相手国であるイギリスの人々に向けて英語が使われていたから。

⑤ あ ⑥ 糞便は買い取られ、肥料として使われた。

⑦ 治外法権（領事裁判権） ⑧ あ ⑨ う

III 1 臓器移植 2 脳死 3 参議院 4 司法 5 持続可能
6 E U (ヨーロッパ連合) A あ B う C い D あ

解 説

I 情報を伝えるものに関する問題です。

問1 乗用車の100世帯あたり保有台数が最も少ない い が東京都、次いで少ない う が神奈川県です。あ・え のうち、情報通信機械器具の製造品出荷額が多い あ が福島県となります。福島県の製造品出

荷額で最も大きな割合を占めているのが情報通信機械器具です。

問2 土石流を示すピクトグラムは、山並みと土砂が流れ落ちる河川を表しています。

問3 c 熊本地震を引き起こした断層帯（布田川断層帯）は、学術的に価値が高く、また、地震の被害を伝える遺構として貴重であるという理由から、2017年、国の天然記念物に指定されました。

d 高度経済成長期には、ニュータウンが開発されるなど、住宅が数多く建設されました。生活様式は洋風化が進んでいましたが、当時の住宅はたたみ敷きの和室が中心でした。たたみの需要が高まったため、たたみ表の原料となるいぐさの作付面積が広がりました。近年は、フローリングの部屋のみの住宅が増え、たたみの需要は減っています。

問4 地図上に描かれている標高や等高線によって、その土地の高さを知ることができます。また、等高線からは、土地の傾きという情報を得ることもできます。

問5 A 説明文の空港は、新千歳空港です。

B 山本作兵衛による炭坑記録画には、九州の筑豊炭田などの作業のようすが描かれています。福岡県では、「あまおう」という品種のイチゴが特産品となっています。

C 兵庫県は日本海と瀬戸内海に面しています。神戸牛はブランド牛としても有名です。

D 福井県東部の旧国名は越前国です。越前和紙や鯖江市のめがねわくの生産で知られています。

E 奈良県には、「法隆寺」・「古都奈良の文化財」・「紀伊山地の霊場と参詣道」の三つの世界遺産があります。

F デイゴは沖縄県の県花に指定されています。

Ⅱ 感染症の歴史に関する問題です。空欄にあてはまる語句は漢字で書くことが求められています。日頃の学習から、漢字を正確に書くことを意識したいものです。

- B 「人々は定住を始め」という本文を手がかりに解答します。
C 聖武天皇は、都を平城京から恭仁京（京都府）→難波宮（大阪府）→紫香楽宮（滋賀県）へ移し、
745年に平城京にもどしました。

E うの廣瀬淡窓は江戸時代の儒学者です。弟子の一人に高野長英がいます。

H 華南と華中は、中国の南部と中部の地域です。日本とロシアが進出を図ろうとしていたという本文から、北にある満州と判断します。

④ 開国前は、オランダを通じて西洋の学問を学んでいました。蘭学の「蘭」は、オランダを表す「阿蘭陀」からきています。横浜開港後、最大の貿易相手先はイギリスでした。イギリスは「英國」とも表記されます。

⑦ 幕末に結ばれた不平等条約では、相手の国に治外法権（領事裁判権）が認められていました。これにより、日本にいる場合でも、日本の法律や制度は適用されず、相手国の法律や制度に従えばよいことになっていました。

⑧ 1894年に外務大臣の陸奥宗光がイギリスと交渉して新たに条約を結び、領事裁判権（治外法権）の廃止を実現しました。

⑨ 明治時代の中ごろ以降、政府の後おしもあって、日本から多くの人がハワイに移住しました。最も多い時期には、1年間に2万人以上が移住し、その多くはサトウキビ畑で働きました。現在でもハワイには日系人が多くいます。

Ⅲ 政治・国際に関する問題です。政治や国際社会については、これから学習するという人が多いかもしれません。新聞やニュースを見ることも、学習の重要な手段の一つです。世の中の動きに興味・関心を持つことが理解を深めることにもつながります。

① 個人が自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利を自己決定権といいます。右のカードは、臓器提供意思表示カード（ドナーカード）です。自分の死後の臓器移植についての意思をあらかじめ示すもので、自己決定権を尊重するものの一つです。

② 参議院議員選挙は、全国を1つの選挙区として行う比例代表選挙と、全国を45の選挙区に分けて行う選挙区選挙の2つの方法で行います。選挙区選挙はかつて、各都道府県を1つの選挙区とした47選挙区で行われていました。しかし、都道府県の人口の差から、一票の価値に大きな差が生じたため、鳥取県と島根県、高知県と徳島県をそれぞれ1つの選挙区とし、45選挙区となりました。

③ 簡易裁判所は、交通違反や軽犯罪などを裁きます。全国に438か所あります。地方裁判所と家庭裁判所は全国に50か所、高等裁判所は8か所あります。

④ 国連環境開発会議（地球サミット）は、ブラジルのリオデジャネイロという都市で開催されました。スウェーデンにあるストックホルムは、1972年に国連人間環境会議が開かれた都市です。フランスのパリと京都では、地球温暖化防止に関する会議がそれぞれ開催されました。

⑤ EU（ヨーロッパ連合）は、ヨーロッパの国々が、最終的には国境をなくして一つの国になることを目的としています。経済活動を活発にしようというねらいで、加盟国の半数あまりでは、共通通貨であるユーロを使っています。

《1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。》

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいすれでも、移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は臓器を提供しません。

《1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》
【心臓・肺・肝臓・腎臓・脾臓・小腸・眼球】

〔特記欄〕
署名年月日：_____年_____月_____日
本人署名（自筆）：_____
家族署名（自筆）：_____

